

成果指標				
成果指標	下水道接続率(%)=接続戸数÷全体戸数(3ヶ年に1度、接続率の調査を行い協定の見直しを行う。)			
指標設定の考え方	接続率が上がることにより、水質環境が改善され漁業振興が図られる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	76%	76%	78%	0
実績	76%	76%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	下水道接続率の向上に伴い、協定金額の削減が図られる。今後も公共下水道の整備を進めることで放流協力金の削減に努めるとともに、漁業組合と継続的な調整を行っていく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	昭和44年の協定書締結を基に3年に1度の下水道接続率の見直しを行っている。下水道接続率の向上により、放流協力金は減少傾向にあるが、その反面、下水量は増加傾向にある。今後は内容を精査して対応を検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	